



パイロット事業の成果 (左: OARCでのインフラ事業、中: OARCでのノンインフラ事業、右: JZRCでのインフラ事業)

June 2019

OARC, JZRCでのパイロット事業完了!

OARC, JZRCにおけるパイロット事業

2018年7月にアスカール難民キャンプ(OARC)とジャラゾン難民キャンプ(JZRC)で住民参加型でキャンプ改善計画(CIP)が作成されましたが、本プロジェクトでは、CIPを策定して終わりではなく、予算を付けて実際にプロジェクトを実施します。これは、カウンターパートの難民問題局(DoRA)や、各キャンプのキャンプ改善フォーラム(CIF)メンバーにプロジェクト実施中に必要なモニタリングの体制作りや手法についても学んでもらうことを目的としたものです。昨年夏以来、各キャンプのCIPから、インフラおよびノンインフラ事業を選定し、実施してきましたが、2019年4月までに無事完了しました。

OARCでのパイロット事業

・インフラパイロット事業(2件)

「女性センターの職業訓練機能強化事業」および「障害者のニーズに配慮したヤセルアラファト公園の改修事業」を実施しました。女性センターではキッチンの改修、公園では障害者にも使いやすい遊具の設置(写真左)等を行いました。

・ノンインフラパイロット事業(1件)

「公共と社会的包摂に関わる意識向上プロジェクト」

本プロジェクトでは、①参加者に対してLife SkillおよびCommunity Initiativeに関する研修の実施、②参加者を3グループに分け、タイトルに関連したグループ活動のアクションプランの計画・実施、を主な活動としました。参加者は、「薬物使用に対する啓発活動(写真中央)」「高齢者への健康に対する啓発活動」「コミュニティ内で発生する暴力に対する啓発活動」のグループを作り、週末人が集まっているモスクの前で劇の披露、ドキュメンタリー風啓発ビデオの作成、また高齢者を対象とした催し物の開催等、精力的に活動してくれました。

JZRCでのパイロット事業

・インフラパイロット事業(1件)

「ユニバーサルデザインによる道路網改善事業(写真右)」を実施し、キャンプ内の5本の主要道路および広場の改修を行い、障害者に配慮し、住民がよりスムーズに移動可能となることを目的として実施しました。

・ノンインフラパイロット事業(1件)

「コミュニティイニシアチブ促進による安全と社会的包摂強化プロジェクト」

プロジェクトの構成はOARCと似ていますが、JZRCでは「安全」にも焦点を当てることとなりました。その結果、「不法車両に対する注意喚起・啓発活動」「障害者の社会包摂活動」「高齢者の社会包摂活動」を実施するグループが作られました。実施するにあたり、キャンプ内外のCBOや学校等から幅広い協力が得られ成功裏に各活動を終了したことに加え、参加者の若者とCBO間のネットワーク構築にも寄与することができました。

2019年4月16日には両キャンプにてノンインフラパイロット事業の活動成果発表会が開催され、また4月23日にはOARCにて、24日にはJZRCにてインフラパイロット事業のオープニングセレモニーが無事開催されました。実施中は、天候に起因する活動遅延問題、情報共有不足に起因する問題等様々なことが起こりましたが、DoRAも辛抱強くCIFメンバーや工事業者を説得しつつ事業を進めることを通じて、モニタリング手法や介入方法を学びました。

7月には2キャンプでのPALCIP活動の経験を西岸地区の他の難民キャンプの代表に紹介するワークショップを実施する予定です。